

愛媛県西条警察署協議会会議録

(平成29年度第1回)

日時	平成29年6月23日（金曜日）午後3時00分～午後5時00分
出席者	1 警察署協議会 曾我部会長以下8人 2 警察署 署長以下11人
議事概要	1 会長挨拶 本年度で協議会は3期目になります。昨年度までは先輩方を頼りに活動させて頂きました。今年度は一部に委員の交替もあり、また、新しく委員になられた方たちとの交流を楽しみに活動させて頂きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。 協議会は、日頃の生活の中で気付いたことや警察に対する要望や意見等を率直に申し上げる絶好の場だと思いますので、活発な意見をよろしくお願いします。 2 署長挨拶 新しい委員をお迎えし、折角の機会ですから、警察署協議会について簡単にお話し致します。平成12年当時、全国の警察で不祥事案が続発したのを機に、警察改革が叫ばれ、その一環として全国の警察署に警察署協議会が設置されました。警察署協議会は、各署の諮問機関として皆様から御意見をいただき、これを警察の運営に反映させ現在に至っております。 さて、県警では、刑法犯の認知件数を1万件以下、交通死亡事故を50人未満との数値目標をお示ししているところではありますが、現在までに県内の死亡事故件数はすでに36件（前年比+3件）に達しており、赤信号が点ろうとしています。当署におきましても、既に本年2月に1件発生しており、今後、何としても発生させないように、取締りと警戒活動を続けていく所存であります。 また、刑法犯認知件数につきましては、5月末で148件と前年に比べて減少しておりますが、御存知のとおり、暴力団同士の殺人事件が発生するなど体感治安は悪化しています。皆様方の安全安心を守る機関としましては、抗争を押さえ、事件の完全解決に向け今後精一杯頑張っていきたいと考えております。 本日は忌憚のない御意見を頂ければと思いますので、よろしくお願い致します。

3 業務推進結果等の説明

平成 29 年 2 月から 5 月までの業務推進状況につき、各課長が説明を実施するとともに、来期の推進計画について説明した。

4 質疑応答等

【委員】特殊詐欺事件の捜査で、受け子とともに組員が検挙されていますが、組員まで及ぶという話はあまり聞きません。やはり珍しいことなのですか。

【刑事課長】暴力団の組員まで検挙するのは大変です。下の受け子連中は、上部組織のことを知らずに動いていることが多く、口止めもされています。だから受け子の検挙で止まることが多いのも事実です。

【署長】事件の表面に出てくる者は、現場で捕まえられることもあるのですが、身分を隠して裏方で指示する上層部までは、なかなかたどり着けないことが多いです。今回、山口組の組員まで遡れたというのは全国的にも珍しいことですし県警全体の評価にもつながっています。

【委員】警務課で被害者支援の「ひまわり」の話題が出ています。これはどういった経緯ですか。

【署長】これは犯罪被害者支援活動の一環として行ったもので、当署には種 20 粒が送られてきました。交通事故被害者の誕生日（5 月 18 日）に合わせて、各署で種まきを行いました。咲くのはもう少し先になりますが、8 月ころには大輪の花を咲かせて、今後この種を更に広げて、被害者支援の一環として広めていきたいと考えています。

【委員】地域課で「ストーカーの現場対応訓練で検問を実施」とありますが、実際にやられたんですか。

【地域課長】日頃から突発事案に対応するため、随時訓練を行っています。当日は、訓練後に交通検問も実施しました。

【署長】こういう訓練は机上だけでは足りず、実際に体を動かして、一連の流れを反復し訓練する必要があります。一刻を争う実際の現場でスムーズに動けるよう若手警察官を中心にしっかりと訓練に取り組んでおります。

【委員】済生会病院西側のドラッグストア「コスモス」付近の交差点は信号機の設置がありませんが、信号機の設置予定はないのでしょうか。また、事故の発生状況はどうですか。

【交通上席】警察庁で決定された信号機の設置指針によりますと、委員から指摘のあった交差点には信号機の設置は難しいところです。T 字路であれば可能ですが、一部道路の幅が狭すぎて、車同士の離合ができない部分があり、信号機による制御ができないからです。

【署長】確かに交差点の信号機の設置要望はあるのですが、一部、東向きの道路の幅が狭すぎて、信号機の設置はできないのです。いずれ道路の幅が広がれば信号機の設置も可能になります。今のところ大きな事故等の発生はありません。

引き続き、警戒箇所として、また指導取締り等の重点地区として事故防止に取り組んでいきます。

【委員】 警務課の警察官募集活動についてですが、昨年の取組みは非常に評価されました。今年も引き続きよろしくお願い致します。

【署長】 今年も大卒の部では、計47人を勧誘し、内26人が受験しております。昨年は、リクルーターが受験希望者を実際に警察学校や本部施設へ案内しまして非常に好評を博しておりますので、今年も引き続き取組みたいと考えております。また、現在、警察学校に西条高校柔道部出身の女性が入校しております。年明けくらいには卒業の予定です。こうして地元から警察官が出るとまたいい刺激になるかと思います。

【委員】 DV事案は検挙された後、夫婦仲が元に戻ったり繰り返すようなことがあるのでしょうか。

【刑事課長】 確かに繰り返すこともあります。警察としては、事件化をして、隔離を図るほか、行政機関と連携し、独立を支援したりしていますが、元に戻ったりまたDVを繰り返すというケースもあります。

【署長】 当初は妻から被害届も出るのですが、事件処理の間に被害の取り下げなどあって、また元に戻ったり更にDVを繰り返したりといったこともあります。警察としては、親身に話を聞き、継続して相談を受けるなど対応しています。

【委員】 ワークライフバランスとはどういうことでしょうか。

【署長】 働き方改革と世間では言われていますが、仕事と私生活のバランスをとろうということで、無駄を省いて仕事を効率的にこなし、余った時間を趣味なり家庭サービスなり充実した余暇に当て、心身のリフレッシュを図り、それを仕事に生かして行こうという取り組みです。

【委員】 警察は、通常、事件・事故が発生してから対応することになると思うのですが、医学に予防医学があるように警察にも事前予防の観点から何か取り組みがありましたら教えてください。

【署長】 各署には相談係というところがあります。事件等の未然防止を図るため様々な相談を受け付けております。特にDV関連事案の相談につきましては刑事課と生活安全課の2名で受け付け、危害の未然防止に努めています。ただし、相談にもいろいろありまして「TVの写りが悪い」とか「隣の物音がうるさい」などの内容も多く、DV関係等危害発生の可能性が高いものから優先順位をつける等して対応しています。

【委員】 検挙少年13人、補導少年83人とありますが、内容の違いについて教えてください。

【署長】法に触れる行為をして捕まった少年が13人、直接検挙される程ではありませんが、喫煙とか深夜徘徊等で注意された者が補導少年になります。今、西条市内では、中学校が荒れており、中学生の万引きを筆頭に補導事案が非常に多くなっています。また、深夜営業店などができたことも増加の一因となっていると思われます。

【委員】これから行楽シーズンです。水難事故や山岳事故の発生が予想されます。楽しい行楽で事故や遭難に遭うのは本当に不幸なことです。一方で、命がけで遭難現場に向かわれる警察官がおられるわけですが、十分気をつけてしっかりやっていただきたいと思います。

5 諮問及び答申

諮問	答申
「若手警察職員の早期戦力化方策について」	○ 引き続き若手の戦力アップを図っていただき、西条の治安を守ってほしい。青年警察官の早期戦力化を継続していただきたい。

署長説明

あと99日で愛媛国体が始まりますが、警衛の3本柱は

- ◎ 天皇皇后両陛下を始めとして御対象の身の安全
- ◎ 国体の円滑な運営
- ◎ 後方治安体制の確立

であります。

国体期間中、「後方治安体制の確立」というのは、我々の大きな使命となるわけです。しかし、西条署の警察官数は計70人でありまして、なかなか対応が難しいと言わざるを得ません。そこで重要になってくるのが、若手警察官の早期戦力化であります。当署では、こういった目標を掲げて昨年、「うちぬき隊」という青年警察官のグループを結成し、執行力の強化、気力・体力の練成、社会性の充実等を目指した活動を行っております。今年も引き続き、この取組みを継続しながら若手の早期戦力化を図っていきたいと考えております。国体もあることですし若手の早期戦力化によって70人が80人の力を出せるように、少数のパワーアップを図っていこうという観点から「若手警察職員の早期戦力化方策について」を諮問事項とさせて頂きました。

本日は、その訓練の一環として、若手の山岳救助訓練を実際に視察して頂き、ご意見を頂戴したいと考えております。

6 その他

(1) 会に先立ち委嘱状の交付及び役員改選が行われ、新役員

- ・会 長
- ・会長代理

が選出された。

(2) 議事終了後、殺人事件捜査本部の激励、山岳救助訓練の視察等を行った。